



訪問ガイド 2026

ヒエロニモス修道院

リスボン・から 19.50€

<https://mosteiro-dos-jeronimos.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金

歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

大航海時代の栄光の証

GOOGLE **4.5** ★★★★★ 61856レビュー

TIQETS **3.9** ★★★★★ 5095レビュー

ジェロニモス修道院の起源は、**1496年6月23日**に発行された教皇勅書にまで遡ります。これはヴァスコ・ダ・ガマのインドからの凱旋よりも前のことで、マヌエル1世の戦略的なビジョンを示しています。この壮大な建物は、香辛料貿易の利益と大航海時代にもたらされた富によって賄われ、建設に750トンの金が費やされたと言われています。この巨額の資金調達、ポルトガルの海洋覇権の象徴となりました。

建築の初期段階では、最初の建築師ディゴ・デ・ボイタカがゴシック様式を採用しました。しかし、1517年にビスクア出身の建築家ジョアン・デ・カステリョが工事を引き継ぎ、独自の融合を生み出しました。彼は装飾にゴシック様式とルネサンス様式を融合させたプラタレスカ様式を導入し、マヌエル様式の洗練された特徴を確立しました。フ

ランスの彫刻家ニコラ・シャンテレーヌは西側のポータルを設計し、マヌエル1世と王妃マリアの肖像を「自然から取った」と評されるほど精巧に刻みました。

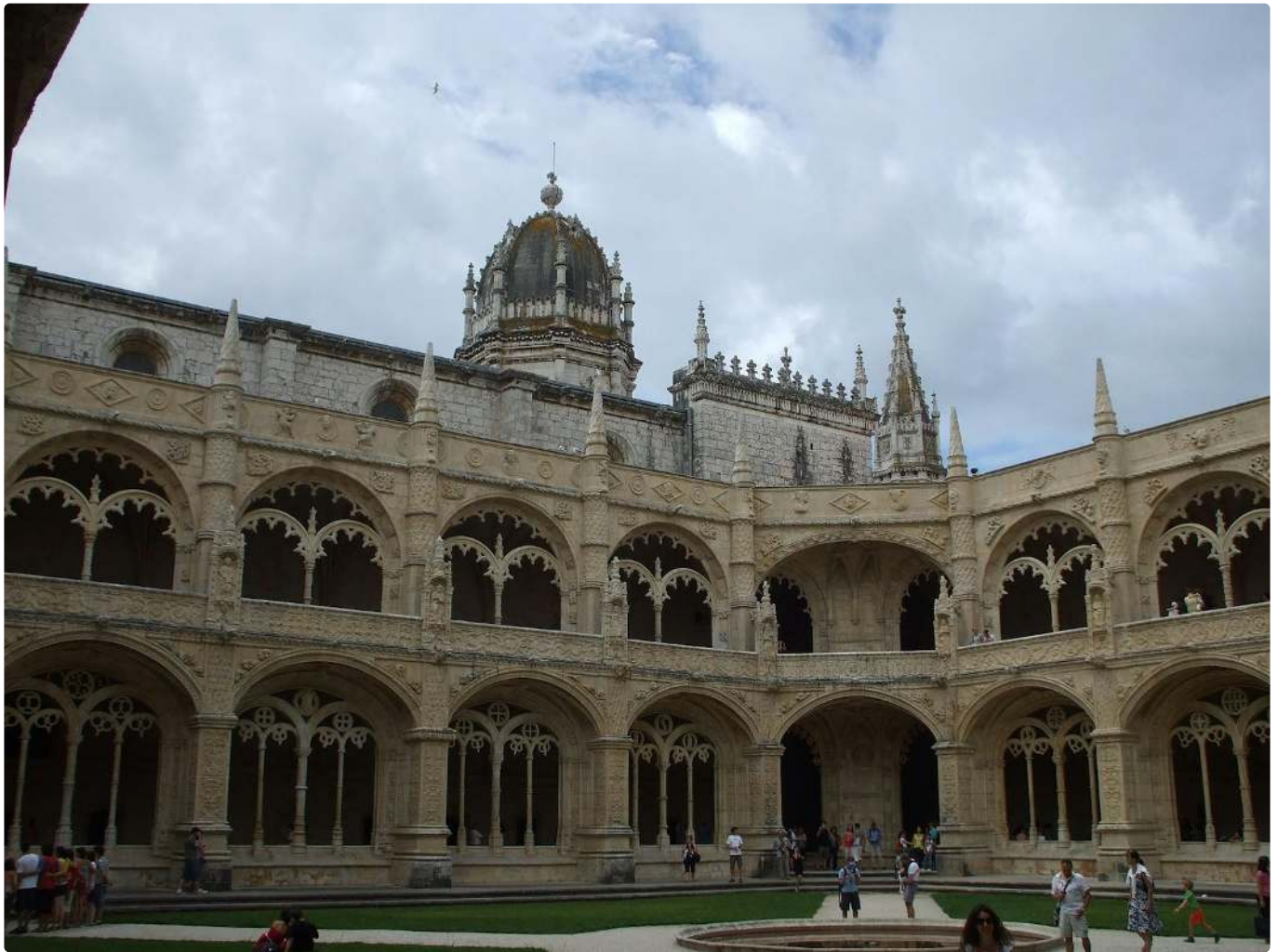
この修道院はリスボンの他の多くの建物と異なり、**1755年**の大地震に耐えました。この壊滅的な地震でも無傷で生き残り、そのオリジナルの建築様式を後世に伝えました。19世紀には僧侶が追放され、教会は教区教会となり、附属建物には海事博物館と考古学博物館が設置されました。1907年に国家記念物に指定され、1983年にはユネスコ世界遺産に登録されました。

この歴史的な場所は、欧州連合（EU）の主要な政治イベントの舞台として栄誉を称えました。**2007年12月13日**にEU憲章条約がここで署名され、海洋の過去と政治的な現在を結びつけました。また、ポルトガル文学の巨人フェルナンド・ペソアは1985年から下層中庭にある質素な墓に眠っており、この場所は文学と歴史の交差点でもあります。

体験

ジェロニモス修道院の門をくぐった瞬間、訪問者はマヌエル様式の圧倒的な美しさに息を呑みます。正面ファサードの繊細な彫刻は、航海モチーフと植物文様が複雑に絡み合い、大航海時代の栄光を物語っています。朝の自然光が石造りのディテールを際立たせ、影と光の戯れが空間に神秘的な雰囲気を漂わせます。

中庭に足を踏み入れると、静寂と荘厳さが訪れます。回廊のアーチは、航海の記憶を刻み込んだ彫刻で装飾されており、訪問者はポルトガルの発見の時代を肌で感じることができます。この空間は、建築と歴史愛好者にとって、時間を越えた瞑想的な体験を提供します。



訪問の準備

実用的な情報

住所 Belém地区・地下鉄：Belém（青線）またはトラム15E（Praça do Império停留所）。	営業時間 季節や祝日によって営業時間が異なります。予期しない閉館を避けるため、訪問前に必ず公式の営業時間をご確認ください。
料金 年齢に応じて子どもは無料（バリエーションを確認してください）。{promo}。	所要時間 サンタ・マリア教会と有名な回廊を、海軍史に熱心な方なら付属博物館も忘れずに、ゆったりと巡るには1時間から1時間30分を予定してください。
写真 教会と回廊では、フラッシュなしで写真撮影が一般的に許可されています。ただし、海軍博物館や考古学博物館では制限がある場合があるため、具体的なルールをご確認ください。	対象者 建築や歴史愛好者に最適。家族連れにもアクセス可能ですが、一部のエリアには階段があるため注意してください。シニアの方は、回廊の瞑想的な雰囲気を気に入るでしょう。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

 地下鉄 : Gare do Oriente — 152 min à pied Gare do Oriente (35 min)・Mosteiro Jerónimos (6 min)
 バス : Caravel on Wheels Belem Bus Stop - City tour — 3 min à pied Gare do Oriente (57 min)・Mosteiro Jerónimos (9 min)
 車 Gare do Oriente (43 min)・Mosteiro Jerónimos (4 min)
 自転車 Gare do Oriente (58 min)・Mosteiro Jerónimos (3 min)

LOCALISATION

Où se trouve ヒエロニモス修道院？



📍 Praça do Império – 1400-206 リスボン

🌐 38°41.873' N, 9°12.402' O



組 織

修道院の空間構成

教会 (Santa Maria)

修道院の核心部であるサンタ・マリア教会は、マヌエル様式の傑作です。南側のポータルは、ディゴ・デ・ボイタカとジョアン・デ・カステイリョによって設計され、ガブル、ピナクル、ニッチが豊富に装飾されています。中央にはポルトガルの守護聖人である大天使ミカエル、そして聖マリア・デ・ベレンの像が配置されています。内部は、航海モチーフと植物文様が融合した彫刻で飾られ、荘厳な雰囲気を醸し出しています。

回廊 (Cloister)

16世紀に建設された回廊は、修道院の国際的な名声を高める主要な要素です。下層はディゴ・デ・ボイタカによって建設され、ゴシック様式とルネサンス様式の装飾が施された細い柱の上にアーチが支えられています。上層はジョアン・デ・カステイリョによって建設され、より控えめなスタイルですが、フェルナンド・ペソアの墓が1985年からここに安置されています。回廊の彫刻は、航海の記憶を刻み込んだ繊細なディテールで知られています。

付属博物館

修道院の西側には、海事博物館と考古学博物館が設置されています。海事博物館は、大航海時代の船の模型、航海図、武器などを展示し、ポルトガルの海洋覇権の歴史を詳しく紹介しています。考古学博物館は、ローマ時代から中世までのポルトガルの考古学的発見を展示しています。これらの博物館は、修道院の建築的な美しさを補完し、訪問者に多角的な歴史体験を提供します。

アクセシビリティ



車椅子アクセス

教会への部分的アクセスが可能です。回廊や付属博物館では移動に困難を伴います。



ファミリー向け

監督付きで子どもに適しており、見学時間は調整可能です。



オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選 択

絶対に外せない見どころ

01

教会正面

南側のポータル

南側のポータルは、マヌエル様式の最も象徴的な要素です。ガブル、ピナクル、ニッチが豊富に装飾され、中央には聖マリア・デ・ペレンの像が配置されています。このポータルは、航海モチーフと植物文様が複雑に絡み合い、大航海時代の栄光を物語っています。訪問者は、この繊細な彫刻のディテールに目を奪われるでしょう。

💡 このポータルの装飾には、航海の記憶を刻み込んだモチーフが数多く見られます。

02

回廊下層

フェルナンド・ペソアの墓

1985年から、ポルトガル文学の巨人フェルナンド・ペソアの遺骨が回廊の下層に安置されています。彼の友人たちが最初の安息の地からこの歴史的場所へ遺骨を移動する許可を得た結果、質素な墓が設けられました。この墓は、文学愛好者にとって感動的なスポットであり、人気がありますがしっかり案内表示がされています。

💡 ペソアは、ヘテロニムスの作者として知られています。

03

北トラペス

ヴァスコ・ダ・ガマの墓

北トラペスには、ヴァスコ・ダ・ガマの墓が安置されています。この墓は、大航海時代の英雄を記念する荘厳な空間です。訪問者は、彼の偉業を振り返りながら、ポルトガルの海洋覇権の歴史を深く感じることができます。墓の装飾は、航海モチーフと植物文様が融合したマヌエル様式の美しさを示しています。

💡 ダ・ガマの墓は、インド航路を開拓した英雄を記念しています。

04

修道院入口

西側のポータル

西側のポータルは、フランスの彫刻家ニコラ・シャンテレーヌによって設計されました。このポータルは、修道院の回廊への入口として機能し、非常に美しい彫刻で装飾されています。特に、マヌエル1世と王妃マリアの肖像は、「自然から取った」と評されるほど精巧に刻まれています。

💡 このポータルの肖像は、自然主義の極致を示しています。

05

修道院西側

海事博物館

海事博物館は、大航海時代の船の模型、航海図、武器などを展示しています。これらの展示品は、ポルトガルの海洋覇権の歴史を詳しく紹介し、訪問者に多角的な歴史体験を提供します。博物館の展示は、修道院の建築的な美しさを補完し、訪問者に深い印象を残します。

💡 博物館には、カラベル船の精巧な模型が展示されています。

06

修道院西側

考古学博物館

考古学博物館は、ローマ時代から中世までのポルトガルの考古学的発見を展示しています。これらの展示品は、ポルトガルの古代の歴史を詳しく紹介し、訪問者に多角的な歴史体験を提供します。博物館の展示は、修道院の建築的な美しさを補完し、訪問者に深い印象を残します。

💡 博物館には、ローマ時代の遺物が展示されています。

07

回廊

中庭の彫刻

中庭の繊細なディテールを撮影するのに十分な時間を確保してください。これらの彫刻は、正面玄関よりも訪問者が少ない傾向があります。自然光が、マヌエル様式の特徴である航海モチーフを際立たせます。訪問者は、この静かな空間で、建築の美しさをじっくりと鑑賞できます。

💡 中庭の彫刻は、航海の記憶を刻み込んだモチーフで知られています。

08

教会内部

王立礼拝堂

王立礼拝堂は、修道院の特別な空間です。訪問者は、この荘厳な空間で、ポルトガルの王族の歴史を振り返りながら、建築の美しさをじっくりと鑑賞できます。礼拝堂の装飾は、マヌエル様式の洗練された特徴を示しています。

💡 礼拝堂は、王族の歴代を記念する空間です。

アドバイス

完璧な訪問のためのヒント

TIMING

開園時刻の直前に到着し、9時30分の時間帯を目標にしてください。これにより、行列を避け、より静かな空間を楽しむことができます。

BILLET

特に繁忙期（7月～8月）や週末には、オンライン予約が強く推奨されます。長い行列を避け、入場を保証できます。

PARCOURS

まず修道院から訪問を開始し、次にベレンの塔へ移動し、最後にMAATで締めくくります。これにより、一日の流れがスムーズになります。

PHOTO

中庭の繊細なディテールを撮影するのに十分な時間を確保してください。自然光が、マヌエル様式の特徴である航海モチーフを際立たせます。

PAUSE

徒歩わずか5分の場所に位置するPastéis de Belémで、本格的な味覚体験を楽しんでください。身体的な活動の後、エネルギーを回復する絶好の機会です。

ENFANTS

家族連れにもアクセス可能ですが、一部のエリアには階段があるため注意してください。子どもたちは彫刻の詳細をとても楽しんでいました。

AUDIOGUIDE

オーディオガイドは、フランス語、英語、スペイン語など複数の言語に対応しています。マヌエル様式の複雑な象徴を解説するため、訪問体験を大幅に豊かにします。

CONFORT

ベレン地区は、主にかなりの距離を歩いて探索します。各スポット間で快適に歩けるよう、適切な靴を準備してください。伝統的な石畳は、靴底の下で不規則な場合があります。



よくある質問

よくある質問

ジェロニモス修道院のチケットは事前に予約する必要がありますか？

はい、特に繁忙期（7月～8月）や週末にはオンライン予約が強く推奨されます。長い行列を避け、入場を保証できます。Belémの塔のチケットとは別であることにご注意ください。

ジェロニモス修道院のチケットには付属博物館の訪問が含まれますか？

一般的にははい、標準料金には教会、回廊、そして現地にある海軍博物館および考古学博物館へのアクセスが含まれます。購入時にチケットの説明をよく確認し、完全な包含内容を確認してください。

現在プロモーションはありますか？

公式サイトまたは提携パートナーを通じて定期的にオファーを確認してください。若者、シニア、またはグループ向けに割引料金が適用される場合があります。Lisboa Cardも多くの場合、無料入場を提供しており、お得な場合があります。

予約をキャンセルできますか？

購入したチケットの種類に応じて、訪問の24時間前または48時間前までキャンセルが可能な場合があります。スケジュールが不確実な場合はフレキシブルチケットを選択してください。オンライン購入時に具体的な条件をご確認ください。

ジェロニモス修道院を訪問するにはどのくらいの時間がかかりますか？

完全にゆったりとした訪問には約1時間から1時間30分を計算してください。これにはサンタ・マリア教会、有名な回廊、そして博物館の簡単な見学が含まれます。歴史に熱心な方は、すべてを深く掘り下げるために最大2時間を予定してください。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

巨額の資金調達

建設費用は香辛料貿易の利益と、大航海時代にもたらされた富によって賄われました。建設に750トンの金が費やされたと言われていますが、これは年間支出ではなく、工事全体の期間にわたる累積額である可能性が高いです。この巨額の資金調達は、ポルトガルの海洋覇権の象徴となりました。

地震の生き残り

リスボンの他の多くの建物と異なり、この壮大な建物は壊滅的な大地震に耐えました。1755年の地震でも無傷で生き残り、そのオリジナルの建築様式を後世に伝えました。この耐震性は、マヌエル様式の建築技術の高さを示しています。

初期の教皇勅書

ヴァスコ・ダ・ガマのインドからの凱旋よりも前に、建設は計画されていました。建設を許可した教皇勅書は正確に1496年6月23日に発行されており、マヌエル1世の戦略的なビジョンを示しています。この早期の計画は、ポルトガルの海洋覇権の野心を反映しています。

ヨーロッパの象徴

この歴史的な場所は、欧州連合（EU）の主要な政治イベントの舞台として栄誉を称えました。EU憲章条約は2007年12月13日にここで署名され、海洋の過去と政治的な現在を結びつけました。この署名は、ポルトガルの歴史的な重要性を再確認するものです。

博物館周辺

ジェロニモス修道院は、リスボンのベレン地区に位置し、テージョ川の河口に面しています。訪問前後には、徒歩わずか5分の場所に位置するPastéis de Belémで、19世紀から秘伝とされてきたオリジナルのナタ・デ・Pastéis de Belémを味わうのがおすすめです。また、大航海時代の象徴であるベレンの塔は、テージョ川の島にあり、絶景と唯一無二のマヌエリン様式を提供します。現代建築愛好者には、流線型のデザインのMAAT（芸術、建築、技術博物館）も必見です。これらのスポットは、修道院の歴史的な雰囲気と現代的な活力をバランスよく体験できます。



ジェロニモス修道院の訪問は、単なる観光ではなく、ポルトガルの魂に触れる体験です。石造りの彫刻が語りかける歴史の重みと、海風が運ぶ自由の香りが融合し、訪問者に忘れがたい感動を残します。この名宝は、リスボンの心臓部で、過去と現在を繋ぐ生きた証人です。